

自動音声システム × KIYOMASA

気象注意喚起
伝達システム

canary
カナリー



『気象注意喚起伝達システム canary(カナリー)』は、自動音声システムとKIYOMASAのコラボレーション商品です。KIYOMASAの現場ピンポイント予測で、豪雨や落雷・突風などの気象災害シグナルが発信された場合、現場に設置されているサイレンやスピーカー、回転灯により、**作業員へ音声や光で危険を通知**します。

商品概要と工種別活用イメージ

河川工事



豪雨予測と連動

トンネル・シールド工事



落雷予測と連動

ダム工事



豪雨予測と連動

海洋工事



津波予測と連動

橋梁・高層建築工事



強風予測と連動

従来技術との違い・導入メリット

違い

従来は、測器で実際に観測したデータや気象警報の発表を、現場作業員が声で通知していた。『気象注意喚起伝達システム canary(カナリー)』は、**現場ピンポイントの気象予測と連動**。天気急変・悪天が予想された場合、地震や津波が発生した場合、自動音声システムによって音声と光で現場へ伝達。

メリット

- ・音声や光で、現場にゲリラ豪雨や強風、地震・津波などの危険を確実に伝達します
- ・メール受信エラーなどの不具合による伝達ロスを防ぎます
- ・作業員全員に瞬時に危険を通知できます

連動できる気象災害シグナルラインナップ

(安全建設気象モバイルKIYOMASAを使用)

■豪雨予測シグナル

→60分先までに**豪雨**が予測された場合

■暴風予測シグナル

→24時間先までに**暴風**が予測された場合

■竜巻・突風危険度シグナル

→60分先までに**竜巻などの激しい突風**が予測された場合

■落雷危険度シグナル

→60分先までに**落雷**の危険が予測された場合

■津波シグナル(津波対策強化プランに対応)

→気象庁から**津波注意報・津波警報**が発令された場合

■地震シグナル(地震対策強化プランに対応)

→現場近傍で**地震**が観測された場合

スピーカー・回転灯



上図 導入例:気象災害シグナルが発信されると音声で現場作業員へ通知

データの流れ



シグナル発信



サーバーへ



津波警報が
発表されました

スピーカー・回転灯作動

現場作業員へ確実に危険を知らせます



現場PC

ポップアップやサウンドで通知をお知らせ



価格

株式会社スカイシステム様へお問い合わせください。

お問い合わせ



株式会社GRIFFY 気象部
TEL: 03-6206-4337 Email:kiyomasa@griffy.co.jp



自動音声システム配信会社
株式会社スカイシステム